

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102922
法人名	有限会社ケアサ - ビスはまゆう
事業所名	グル - プホ - ムはまゆう堀江
所在地	愛媛県松山市福角町甲200番1
自己評価作成日	平成24年10月1日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>リビングは、吹き抜け構造で、開放感あり、安全 安心でのびのびとした自由な暮らしの中で共に過ごし 学び 支え合う関係を築き、庭園には、花壇や畑あり、花を生けたり新鮮な自作の野菜で、食卓を囲み、得意分野で力を発揮できる地域に根ざしたアットホ - ムなわが家です。</p>
--

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年12月21日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は開設10年となり、畑作りや野菜をおすそ分けし合うこと等を通じて、年々、地域との関係が深まってきている。事業所の畑では、珍しい野菜を作っておられ、地域の方もおすそ分けを喜ばれるようだ。地域の方が、果樹園の桃の木を1本任せてくださり、袋かけする等して桃がたくさん採れ、いろいろなおやつを作り楽しまれたようだ。又、キャベツをいただいた際には、お好み焼きを作り、お礼にお呼びして一緒に楽しめる。事業所では、近々、「クリスマス会」を計画されている。毎年、元老人会長自らがサンタクロースの衣装で、利用者にプレゼントを届けてくださる。調査訪問時には、「元老人会長サンタクロース」を迎える歌を、ハンドベルや鈴を使って利用者職員で、熱心に練習されていた。利用者は、地域の方が、「自分の名前」で呼びかけてくださることをとても喜んでおられる。地域の方達から頂き物があった際には、利用者が寄せ書き等をして、感謝の気持ちを伝えておられる。入居間もない利用者は、よくお世話して下さる利用者のお隣に席を設け、一緒に食事する等しながら、事業所での生活の仕方を教えてもらっている。地域の老人会が公民館で誕生会を行なっておられ、利用者も参加して一緒に祝いされている。</p>
--

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者の</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんど掴んでいない</li> </ol>	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎日ある</li> <li>2. 数日に1回程度ある</li> <li>3. たまにある</li> <li>4. ほとんどない</li> </ol>	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目: 28)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての家族と</li> <li>2. 家族の2/3くらいと</li> <li>3. 家族の1/3くらいと</li> <li>4. ほとんどできていない</li> </ol>

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホームはまゆう堀江

(ユニット名) 1ユニット

記入者(管理者)

氏名 近藤美由紀

評価完了日

24年 10月 1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p><b>(自己評価)</b></p> 理念に「地域との交流」を掲げ、理念に沿った暮らしが出来るように努めている。地域の行事に参加したり、畑仕事等を通じて日常的に交流し、本人の気付きを大切に残存能力を発揮出来るように地域職員が一带になって共有して、実践につなげている。 <p><b>(外部評価)</b></p> 法人代表者は、管理者も務めておられ、日々、職員とともにケアに取り組みながら、「理念にも挙げているでしょう」「～だからおこなっているのよ」と、職員が理念をケアにつなげ取り組めるよう、「解説」しながら導いておられる。事業所全体で、地域とのつながりをとても大切にされており、法人代表者は、「事業所運営や利用者が豊かに暮らせる」のは、「地域のおかげ」と話しておられた。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	<p><b>(自己評価)</b></p> 老人会に継続して全員入会し、行事に参加したり、地域の奉仕活動も積極的に取り組み、地域の一人として、日常的に交流している。収穫した野菜 果物、頂いたり上げたり、旅行からのお土産頂いたり、気軽に声掛け合い地域のつながりが、益々盛んで地域の方々との交流深めている。 <p><b>(外部評価)</b></p> 事業所は開設10年となり、畑作りや野菜をおすそ分けし合うこと等を通じて、年々、地域との関係が深まってきている。事業所の畑では、珍しい野菜を作っておられ、地域の方もおすそ分けを喜ばれるようだ。地域の方が、果樹園の桃の木を1本任せてくださり、袋かけする等して桃がたくさん採れ、いろいろなおやつを作り楽しまれたようだ。又、キャベツをいただいた際には、お好み焼きを作り、お礼にお呼びして一緒に楽しめる。事業所では、近々、「クリスマス会」を計画されている。毎年、元老人会長自らがサンタクロースの衣装で、利用者にプレゼントを届けてくださる。調査訪問時には、「元老人会長サンタクロース」を迎える歌を、ハンドベルや鈴を使って利用者と職員で、熱心に練習されていた。利用者は、地域の方が、「自分の名前」で呼びかけてくださることをとても喜んでおられる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p><b>(自己評価)</b></p> 運営推進会議を開催する事により、地域の方に認知症への理解が深まり、相談に来所されたり、地域での行事には、積極的に参加して、地域貢献に努めている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 会議は、市担当者 地域包括センター 家族 地域の方々と和やかに開催して、貴重な意見交換でき、サービスの向上に活かしている。	
			(外部評価) 会議には、地域の方や老人会の方、ご家族も4名程度参加されている。会議時、事業所から、利用者の状態や看取りの事例等を報告されたり、又、消防訓練やクリスマス会と併せて行い、会議を通じて、地域の方達との交流を深めておられる。参加者から、「あの利用者の方は、以前より状態がよくなったね」と言っていたり、利用者の状態や様子等をよく知っていたりしている。いただいた野菜や事業所で採れた野菜を使った利用者手作りの餃子をお土産に帰ってもらうようなこともある。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を開催する事により、地域の方に認知症への理解が深まり、相談に来所されたり、地域での行事には、積極的に参加して、地域貢献に努めている。	
			(外部評価) 市や地域包括支援センターの担当者の方は、運営推進会議に参加されて、感染症等について気を付けることを伝えてくださったり、会議と併せて行う行事等にも参加されて、利用者と一緒にマツケンサンバを踊ってくださるようなこともある。時には、「地域の方やご家族もよく会議に参加してくれていますね」と感想をくださるようだ。看護学生の研修等も受け入れ、運営推進会議に参加してもらったり、又、行事やケア等を体験して勉強してもらえるよう努めておられる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は、玄関に施錠しない 行動制限等もしないケアの実践に努めている。	
			(外部評価) 門扉を開放されており、前の道からも庭の様子がよく見える。玄関は施錠せず、居間に居ても、玄関の扉のガラス部分からは、庭の様子が見える。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待とは、身体的なものだけでなく、精神的なものもある事や気づかずにしていないかお互いに意見交換しながら防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 施設内にパンフレット設置し必要時相談出来るようにしている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約に関する説明は、理解を得られたか確認して疑問や、不安がないように充分説明している。解約時も相談しながら行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 毎朝その日の出来事等利用者に話す機会を設け意見等聞いて反映している。家族会は、運営推進会議の開催前に行ったり、面会時には、利用者の状況を報告したり、手紙で様子を報告して、要望等反映している。 (外部評価) 運営推進会議時には、家族会も併せて行っておられ、介護保険法の改正時には、「夜間の職員体制」について議題に挙げ、職員数や利用料金の負担等の詳細を伝えて、ご家族と話し合って現状維持で決定された。又、「気になること」をうかがった際には、ご家族から「最期まで見てくれるか」と質問があり、事業所からは、想定されるいろいろな対応について、「事業所で支援できること」を説明をされた。クリスマス会には、毎年、ご家族も招き、利用者と手をつないで登場するシーンを作り、「きずなを深められるような支援」に取り組まれている。ご家族は、利用者が入居して「仲間ができたこと」をとても喜ばれているようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	ミーティングや毎日引継ぎの中で個々の利用者のケアについて意見交換して実践につなげている。外部研修も積極的に参加してケアサービスの質向上を目指している。	
			(外部評価)		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	職員の個々の環境によって勤務形態等希望を取り入れ事情等も配慮し、労働時間も考慮している。	
			(外部評価)		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	外部研修に参加し、研修資料など収集し回覧して内部研修と繋げ質の向上を目指している。	
			(外部評価)		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	地域包括支援センター等を通じて同業者と交流する機会ができ意見交換してサービスの質の向上に努めている。	
			(外部評価)		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	家族と共に施設見学して頂き、利用者の生活状況を見て頂いたり、利用者の生活実態を知って頂くようにしている。事前面談は、利用者の生活状況や要望に傾聴して把握するように努めている。利用者の不安や心身状態等受容出来るような信頼関係に努めている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前面談時家族の要望等に傾聴して事業所として、対応できるサービスを柔軟性をもって家族の状況をみながら説明し、信頼関係をつくっている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、利用者 家族の思いや、状況を確認し、必要としている内容が、事業所で可能か柔軟な対応を行い、場合によっては、他の事業所のサービスを紹介したりしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 一緒に過ごす 学ぶ 支え合う関係で職員と共有している。喜びや楽しみを共感し利用者の言動から学ぶことが多く信頼関係を築いている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の様子や施設の状況等家族との情報交換を密に行い、家族に傾聴して信頼関係を構築している。支援している一方的な関係でなく家族関係築けるように日々の暮らしの出来事等も面会時に共有出来るように努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 個々の馴染みを大切に利用者が安心して生活が送れるような環境を継続している。友人と外食や買い物に出かけたり、年金友の会の会席に出席されたり 退所後の家族との関係が継続しており、ご主人の面会に出かけ楽しいひと時を過ごしたり、同級生が尋ねてこられ懐かしい想いでを語ったり、それぞれ馴染みを活かしながら人間関係が保たれている。 (外部評価) 地域の方達等から頂き物があった際には、利用者が寄せ書き等をして、感謝の気持ちを伝えておられる。入居間もない利用者は、よくお世話してくださる利用者のお隣に席を設け、一緒に食事する等しながら、事業所での生活の仕方を教えてもらっている。地域の老人会が公民館で誕生会を行なっておられ、利用者も参加して一緒にお祝いされている。又、事業所の中では、他の利用者達からお祝いの寄せ書きをプレゼントしてもらい、それぞれ居室に飾っておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 和気あいあいの家族ぐるみの関係が保たれている。お互いに感謝の気持ちを大切に労ったり、役割活動を通じて利用者同士の関係が円滑になるように努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後も家族と継続的な付き合いが出来必要に応じて相談を受けたり、行事に参加して頂いたりして継続的な関係が保たれている。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の暮らしの中で話し合い 行動 表情等から汲み取り真意を推し測ったり、それとなく確認し、意思疎通の困難な方には、御家族や関係者から情報を得て把握している。 (外部評価) 毎朝の朝礼時には、代表者が今日の予定を利用者に伝えて、みなで「どのようにするか」相談しながら決定できるよう支援されている。耳の聞こえにくい方には、職員が、そばでメモ帳に書く等して意向をお聞きしている。管理者は、利用者のことをよく知っておられるが、利用者の中には身寄りのないような方もおられ、さらに、利用者一人ひとりの「夢やこれからの暮らし、終末期のあり方」等の希望についても利用者から得た情報をまとめ、より利用者主体の支援に活かしていかれてほしい。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人や 家族から入居時生活歴や日々の暮らしを徴集し継続して生活が送れるようにしている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎朝起床時にバイタルチェックを行い、その日の健康状態を観察し個々の生活リズムを把握する。一人ひとりの出来ることを見つけ、役割や生き甲斐に結びつけられるように柔軟に取り組んでいる。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 個々の日々の暮らしを重視し、家族面会時や 家族会で意見や希望を聞き職員全員で意見交換したり、個々の必要に応じて地域 ボランティアの方々の支援もとり入れて計画作成にしている。</p> <p>(外部評価) 毎月、職員でモニタリングして半年ごとに介護計画を見直しておられる。利用者の身体状況等については、年に1回アセスメントされている。今後、ご家族と一緒にケアするような場面を作る等して、より具体的にご家族から「利用者の暮らしとケア」について意見や要望を引き出し、ともに利用者を支えていけるような支援に取り組まれてほしい。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 個々の日々の状態を毎日記録して、情報を共有している。介護の理念に環境 自立 自発を掲げて目標達成出来るように職員間で意見交換しながら見直ししている。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 通院 入退院時への支援外出の促進を行っている。家族の状況に応じて柔軟な支援に取り組みしている。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 住み慣れた地域で個々の出来る事を協働して、奉仕活動したり、地域の役員を利用者と共に行い回覧 集金等しながら、個々の残存能力を発揮している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 係りつけ医は、家族 本人の意向を重視し希望に沿って同意を得ている。事前に、必ず家族に状況報告し、代表者が同行して受診時必要に応じて情報提供している。結果は家族に電話にて連絡し、今後の方針等相談している。常に適切な受診治療を受けられるように医療機関と連絡体制を図っている。	
			(外部評価) 入居時に薬を多く服用しているような方もあるが、主治医と相談しながらケアや食事でカバーできるように支援されている。日中、活動できるよう支援して、現在は、入眠剤を必要とする方はおられないようだ。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 毎日バイタルチェックを実施し、心身状態等平常と異なる時は、看護師に伝達報告し、情報を共有している。必要に応じて医療機関と連絡体制を図っている。	
			(外部評価)	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入院時疾病の状態に応じて職員 利用者が、面会して安心して頂けるようにしている。可能な限り面会して、状況に応じて医師と連携図りながら、早期退院出来るように情報交換している。	
			(外部評価)	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 代表者は、契約時に、「看取りに関する指針」に沿って家族関係者の希望があれば、事業所で看取り支援できることを説明している。初期段階で本人の意向を踏まえて家族 医療機関 看護師 介護者職員と連携図りながら役割の中で再検討して状態応じた環境で柔軟な対応が出来るように 医師 職員 家族と共有して支援する。	
			(外部評価) 今夏に1名の利用者の看取りを支援された。居室で過ごすことが長くなった利用者に、他利用者が訪ねて行き、声をかけたり手をさすったりされた。職員が何度かお誘いしても難しかったが、「車いすで少しみんなのところに出てみる？」との他利用者の誘いにご本人が応じられ、少しの時間みなと過ごされたようだ。利用者は、最期までご自分で「トイレに行きたい」と言われたようで、ご本人の気持ちに沿って支援することに努められた。葬儀時には、ご本人が生前、丹精込めて世話した庭のあじさいの花を摘んで供えられた。ご家族は、お棺の中にも入れてくださったようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時事故発生を想定して、看護師による指導や、研修を行い、全職員に周知出来るようにしている。ヒヤリハットや事故報告書を提出し、検討会議を行い、再発防止に努めている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 運営推進会議にて消防署の協力により、地震 火災に対する 避難訓練を実施し、意見交換して、地域の方の救助体制と避難場所の確保する。職員は、マニュアルを反復し、火を出さない 発生時には、迅速に対応出来るように強化する。 (外部評価) 東日本大震災後、災害時の地域との協力体制について、運営推進会議等を通じて再確認をされた。又、地域の方達と一緒に防災訓練を行なっておられる。事業所では、季節に応じて畑で野菜をたくさん作っておられ、水や食料の備蓄もある。スプリンクラーを設置しており、夜間はガスの元栓を閉めて、さらに元栓のある場所は、職員が鍵をかけている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 日々の関わりを職員で反復し、さらなる職員の意識向上に努める。プライバシーを損ねない対応を徹底するように努めている。 (外部評価) 朝礼で外部評価の訪問があることを知った、お華の先生をされていた利用者の方が、玄関や畳の間に野山の花を生けてくださっていた。又、昼食も畑で採れた野菜をふんだんに使ってサラダを作ったり、豆ごはんに入れる豆の種類等も考えてくださったようだ。食後には、食事の内容を新聞のはしに書き留めておいてくださる方がおり、職員は、その利用者へ献立や使用していた食材をお聞きして、一週間の献立表に記録されたり、献立作りの参考にされており、「利用者の残存機能を活かして、生きがいを持ってもらえるよう」支援されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 出来る事を一緒に行いながら、傾聴し、共感的な姿勢で接し、表情 言動等から探り可能な限り一緒に考え自己決定出来るようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々の体調を配慮しながら、本人の気持ちを尊重して、支援している。個々の想いに柔軟に対応する。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 個々の個性を活かし生活状態に合わせて支援したり、外出時 行事等おしゃれを楽しまれている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者と一緒に畑で収穫した野菜、地域で頂いた物等を献立たてたり、調理して、食事を一日の大切な活動の一つとして味覚を楽しまれている。準備や片付け等も一緒にしたり、配膳 下善は、個々の生活リハビリとして行っている。	
			(外部評価) 畑の野菜やいただいた野菜を中心に、野菜をふんだんに使って食事作りをされている。調査訪問時には、サンチュやレタス、水菜等、「8種類ほどの野菜」をたっぷり使ったサラダや黒大豆を炒った豆ごはん等、「自分達が育てた野菜」で満足のいく食事を作っておられた。そのためか、以前は生野菜を食べなかった方も、現在では残さず食べられるようだ。職員が「食事できましたよ」と声をかけると、利用者は、それぞれの身体レベルに応じて、ご自分の食事を台所に取りに行かれたり、又、BGMをかけてくださることが役割になっている方もおられる。食後には、下膳もご自分でされており、利用者によっては少しずつ食器を下げる方や器を重ねて両手で持って下げる方もみられた。又、訪問者には、隣りに座る利用者の方が「お箸は台所にあるから、取っておいで」と教えてくださった。男性利用者の方は、食欲もあるため、大き目の食器を使う等して、他利用者より多く盛っているように見えるよう工夫されていた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 疾病の状態に応じて個々の水分量や食事量 体重や活動をチェックしたり、日々記録し職員が情報を共有出来るようにしている。定期的に医師と連携図り必要に応じて検査し、バランスが調整できているか専門的にアドバイスして頂いている。糖尿病の利用者も安定している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔の手入れの必要性を全員で理解し、口腔ケアの重要性を職員がカンファレンスにて理解し、肺炎等の予防に努める。義歯の管理や手入れを確実にし、口腔内の清潔維持に努める。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)		
				排泄習慣を把握し、トイレ誘導にて排泄を促している。気持ちよく排泄が出来る環境を提供する。「排泄が解らない 後処理が出来ない」等自立に向けて支援する。	
			(外部評価)		
				おむつ代のことも考えながら、できるだけトイレで排泄できるような支援に取り組まれている。トイレは、男性用便器も設置されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)		
				規則的な生活習慣 食物繊維の多い献立の工夫 適宜の運動 水分補給等に重視し、自然排便出来るように努めている。	
			(外部評価)		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)		
				冬季は、頂いた柚子で柚子湯を楽しむことが出来満足されている。安全 安心して入浴出来るような環境提供している。	
			(外部評価)		
				一般家庭のような浴室で、夏はシャワーを浴びる回数も増えるようだが、現在は「利用者の身体の負担」も考えて、週に2回程度入浴を支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)		
				個々の生活習慣を把握して、不眠の原因を説明する。日中の活動を促し、生活リズムを整える。	
			(外部評価)		
				現在の入浴支援のあり方について、個々に合った支援となっているか、点検する機会にされてはどうか。利用者一人ひとりについて「お風呂を楽しむ」という観点から、支援のあり方を工夫されてみてはどうか。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬管理は、管理者 看護師が行い、目的 副作用 用量等その都度申し送りしている。状態の変化を観察し個々のファイルに記録し、職員全員が周知出来るようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 役割 楽しみ 活力を引き出す等個々の残存能力が発揮出来るように、日々の過ごし方に工夫している。得意分野を活かせ経験や知恵が発揮出来るような環境を提供し地域の関わりが多く、生き甲斐 楽しみながら生活されている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 生活の継続支援 気分転換やストレス解消 五感刺激の機会等戸外で楽しめる環境を提供している。地域との関係の継続 外食 買い物 他に入居中の面会等個々の希望に応じて、家族に連絡して行っている。老人会の行事参加等地域の暖かい協力して頂いている。	
			(外部評価) 地域の方が、ご自宅の菖蒲を池の近くに場所に植えて、みんなに楽しんでもらうことを提案され、利用者も一緒に苗植えに参加された。顔馴染みの方も複数おられて、利用者も長靴にエプロンを着けて一緒に活動された。地域の方が利用者を畑に連れて行ってくださり、収穫等を一緒にして下さることもある。他グループホームに入居するご主人に会いに行く際には、職員も同行して、ご主人のお好きなお菓子等を買って、会いに行けるよう支援されている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個々の状況に応じてお金の所持は異なるが、金銭感覚の乏しい方については、お金の大切さや将来に向けての計画等話し大切さを知ってもらっている。家族に随時報告をしている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 携帯電話で自由にかかけられたり、必要に応じて個別にかかけられている。利用者が関係者に礼状を寄せ書きしたり、年賀状も出して交流している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><b>(自己評価)</b> 利用者が過ごす共用空間は、わが家自慢の吹き抜け構造で、明るく開放感あり、室内には観葉植物等季節の花や物が設置され精神的に落ち着いた雰囲気の中で、自由な暮らしが出来るように継続して環境整備に取り組んでいる。四季に応じて配置等模様替えも行い、室内には、温湿度計設置し、健康管理に重視している。</p> <p><b>(外部評価)</b> 調査訪問時には、クリスマスの飾り付けをされており、シクラメンの鉢を配して、利用者は、数日後のクリスマス会を楽しみにされていた。亡くなられた利用者のご家族からコスモスの種をいただき、毎秋、庭の通路脇には、たくさんのコスモスが咲き、訪れる人を楽しませてくれている。お花が咲いた際には、そのご家族の方にも届けておられる。居間の窓の近くにソファを設置しておられ、窓からの自然の明るさで雑誌や本を読んでいる方もみられた。丸型のテーブルを複数配置して、それぞれが決まった席で食事したり過ごしたりされている。居間内にも観葉植物等、緑を配しておられる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p><b>(自己評価)</b> 玄関先には、ベンチあり、菜園を眺めて、野菜や花を觀賞したり、成長を楽しみ、リビングには、ソファで利用者同士がくつろげるように配慮している。季節に応じて畳み部屋には、コタツで団らん出来自由に仲間同士の関係等にも配慮した環境を継続出来るように努めている。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><b>(自己評価)</b> 住み慣れた環境が継続出来るように使い慣れた物や好みの物を大切に活かし居心地良く安心して過ごせるように配慮している。</p> <p><b>(外部評価)</b> 居室入口には、折り紙で折ったサンタクロースを地域の方が付けてくださっている。入居前にご自分で作った編みぐるみや小さな人形を窓辺に並べて飾っておられたり、毎日かけ布団を畳む方もおられる。窓から庭の菜園の様子を見て、雨に当てると悪くなるからと、トマトを採って来られ、室内で熟すのを待っている方もおられた。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p><b>(自己評価)</b> 個々の状況に応じて居住環境に配慮している。安全確保と自立 自発的に活動が維持できるように生活空間で、転倒に繋がる原因がないか常にチェックしている。</p>	